

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 超音波検査で一過性に小腸小腸型腸重積所見を認めた 10 症例の検討

[研究責任者] 医局 小児科 坂井田圭哉

[研究の背景]

腸重積症は、腸管が腸管に入り込むことで腸管の血行障害や通過障害が引き起こされる代表的な小児緊急疾患で、放置により腸管壊死や穿孔、腸閉塞から生命に関わることもあります。小腸が大腸に入りこむ病態が典型的ですが、まれに小腸が小腸に入り込む例もあり、この例を『小腸小腸型腸重積症(SBI)』と呼んでいます。整復が必要になった際に、典型例よりも手術になる可能性が高いとされています。SBIについては発症頻度が少なく、その臨床的特徴に関する報告も少ないです。SBIは観血的整復術のリスクや病的先進部に注意が必要となる一方で、自然軽快する良性の SBIの例も多いため、侵襲性の高い検査や治療の適応を考慮する際に、超音波検査での追跡による慎重な経過観察も選択肢になり得ると考えます。

[研究の目的]

2022 年 1 月 1 日以降に当院で SBI の患者を 10 例経験したため、その臨床像を検討すると同時に、SBI 所見が認められた場合の適切な対応について考察します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2022 年 1 月 1 日から西暦 2023 年 6 月 30 日の間に腹部超音波検査を受け、小腸小腸型腸重積症の所見を認めた方

●研究期間：臨床研究審査委員会承認日から西暦 2025 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：血液検体

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個

人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院 444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医局 小児科 坂井田圭哉

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913